

「里地里山保全における協議会の位置づけと管理運営の促進」

1. 神奈川県秦野市での取り組み

(1) 協議会の形態

全体協議会：国、県、市、自治会、森林組合、NPO、専門家による協議会

地域懇談会：秦野盆地の里山部分を含み中心市街地部分を除く5つの自治区において(上、西、北、東、渋沢)個別に懇談会を実施。メンバーは、各地区の森林組合、生産森林組合、区長会長、主要な区長、地域内NPO、市、環境省モデル事業事務局)

(2) モデル事業における当初の目標(事務局内部の仮説)

- ・ 市内のNPO(13団体)の活性化
- ・ 新たなNPOの創出(10団体程度新規創出)
- ・ 企業参加(19社)によるCSRとしての保全活動

(3) モデル事業実施中の成果(仮説と異なる成果)

- ・ 各地区別課題の抽出により、各地区自治会の積極的な参加を得られた。
- ・ 上地区：生き物の里づくりを通じた「こどもたちへの環境学習」の推進
- ・ 北東地区：ヤマビル対策としての里山整備、落ち葉はき、落ち葉の堆肥化
- ・ 渋沢地区：他地区の住民参加、自治会参加に触発された住民参加の拡大
- ・ 東地区：NPOによる保全活動の強化

(4) 管理運営への参考事項

- ・ 地区のもつ課題毎に、自治会参加、NPO参加、行政支援の方向は異なる。
- ・ 課題を共有できる範囲での協議会構築が、結果的に、管理運営への近道。
- ・ 課題に基づく管理運営は、トータルコストがもっとも低い。

2. 福井県越前市での取り組み

(1) 協議会の形態

全体協議会：国、県、市、自治会、NPO、地域団体、専門家、高専、大学による協議会

集落懇談会：字単位で実施(世帯数9、27、40、160世帯の4カ所)

地元住民と行政、専門家、NPO、事務局の協働調査を実施。ワークショップを通じて、4地区の課題を抽出し、地域全体の保全方針を策定。

(2) モデル事業における当初の目標(事務局内部の仮説)

- ・ 地区別のアベサンショウウオをはじめとする希少種等の分布状況の把握
- ・ 各地区別の保全方法から全体方針の検討

- ・ 新たな保全組織の創出（地域振興会の中の環境部門のNPO化）
- ・ エコツーリズムによる保全活動の促進と経済基盤づくり

（３）モデル事業実施中の成果（仮説と異なる成果）

- ・ 希少野生生物指導員によるビオトープ創出活動の活発化
- ・ 農地水環境保全向上施策での直接支払い予算を元にした保全体制の構築
- ・ 外部評価の重要性、中学校での生態学調査の表彰、テレビ放映、新聞記事での評価による活動の拡大
- ・ 「評価される地域」へのコーディネート的重要性

（４）管理運営への参考事項

- ・ 関連する施策の調査とマッチングの可能性の検討
- ・ 小中学校、地域、個人、市町村等、異なる対象への評価機関の把握とコーディネート
- ・ 地域における課題の抽出から、評価される道筋の設計

3．佐渡におけるトキの野生復帰の取り組み

（１）協議会の形態

連絡協議会：自治会、地域型NPO、市、県、佐渡汽船、生協、新潟大学による協議会

地域説明会：集落単位でトキのスライドショーと懇談会を実施

- ・ 連絡協議会では、全体の方針やスケジュールの調整
- ・ 地域説明会では、地域の合意形成と、数日後の生き物調査等を実施し、活動をスタートさせる。

（２）地域説明会の目的

- ・ トキのスライドショーの上映により、地域住民の関心を引きつける。
- ・ スライドショーの後に、周辺各地の保全作業の紹介をし、
- ・ 当該地区での実施の可能性を探る。その際、エサ場整備活動等の助成金情報等を伝える。

（３）活動の開始

- ・ 地域説明会の直後、連絡協議会メンバーも参加する保全活動を同地区で実施。
- ・ 地域団体による、第２回の保全活動の計画を促す。
- ・ 助成金申請書のサポートを行うことで、次年度以降、保全団体として活動開始する。

豊岡の皆様、前浜地域の皆様へ

トキのライドショーへお越し下さい
9月1日(金) 夜7時～8時30分
豊岡 公民館



2008年、トキを放鳥できるように、
小佐渡東部地域で始まっている活動を、
ライドショーで紹介します。30分ずつ3つのテーマで行います。
全部で90分です。

1. トキの餌場づくりのライドショー

(協議会座長: 高野毅、竹田純一)

生椿、清水平、久知河内、野浦、月布施、
片野尾地区の餌場や森林整備の活動、
子どもたちの体験学習活動の写真を見なが
ら餌場づくりやねぐらづくりの話をお聞かせします。



2. トキの野生順化センターのライドショー

(トキ保護センター: 坂敏彦)

今年、トキは、80羽になりました。これまで
の保護増殖の状況、今後の羽数の予定、
トキの野生復帰の計画を、ライドやイラスト
を見ながら、お話をお聞かせします。



野鳥順化施設 鳥取県

3. 佐渡東部の松枯れ、ナラ枯れのお話

(新潟大学 本間航介)

第1期の松枯れ、第2期の松枯れ、そして、
平成12年頃から始まったナラ枯れについて、
新潟大学の本間先生のお話を、ライドを見
ながらお聞かせします。



平成18年8月14日

主催: トキの野生復帰連絡協議会

協力: 佐渡市、トキ交流会館、佐渡トキ保護センター、新潟大学

問い合わせ: トキ交流会館 0259-24-6040 FAX 24-6041